

サザンアジア・オールスター株式ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、中国ならびに東南アジアの株式に投資する投資信託証券に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年1月26日～2025年1月27日

第18期	決算日：2025年1月27日	
第18期末 (2025年1月27日)	基準価額	12,757円
	純資産総額	4,282百万円
第18期	騰落率	15.2%
	分配金合計	450円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

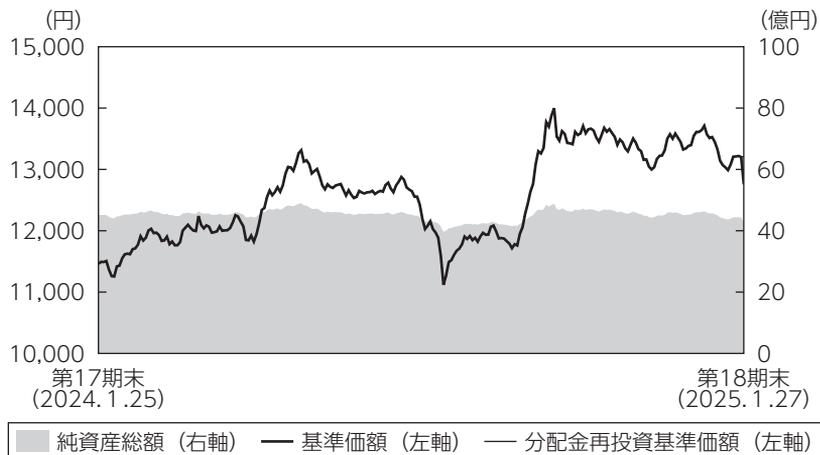
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第18期首： 11,462円
 第18期末： 12,757円
 (既払分配金450円)
 騰落率： 15.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは中国（主として香港、マカオなどの華南地域^{*}）のサービス分野に関連する企業の株式に投資する投資信託証券（新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド、以下、「マザーファンド」といいます。）、ならびに東南アジア（シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムなど）の株式に投資する投資信託証券（TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド、以下、「東南アジアファンド」といいます。）を主要投資対象としています。

当期の中国・香港株式市場は上昇しました。中国の経済指標や企業業績は軟調な状態が続いたものの、2024年9月に中国政府により大規模な景気対策が発表され、経済・企業業績の回復が期待され上昇しました。

当期の東南アジア株式市場は上昇しました。世界景気の後退懸念が和らいだことなどを背景に世界株式市場が上昇を見せるなか、域内株式市場も堅調な上昇を見せました。個別市場では、政情不安が嫌気されたフィリピン市場が下落した一方で、シンガポール市場の上昇が目立ちました。

株式市場の上昇に加え、為替市場においては、香港ドルや東南アジアの各通貨が上昇（円安）し、基準価額は上昇しました。

^{*}華南地域とは、当ファンドでは香港、マカオおよび中国南部の広東省、海南省、福建省を指します。

1万口当たりの費用明細

項目	第18期 (2024年1月26日 ～2025年1月27日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	181円	
(投信会社)	(74)	(0.586)	
(販売会社)	(98)	(0.774)	
(受託会社)	(10)	(0.077)	
(b) 売買委託手数料	6	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.043)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	4	0.034	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(4)	(0.034)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	6	0.050	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(6)	(0.047)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	197	1.567	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

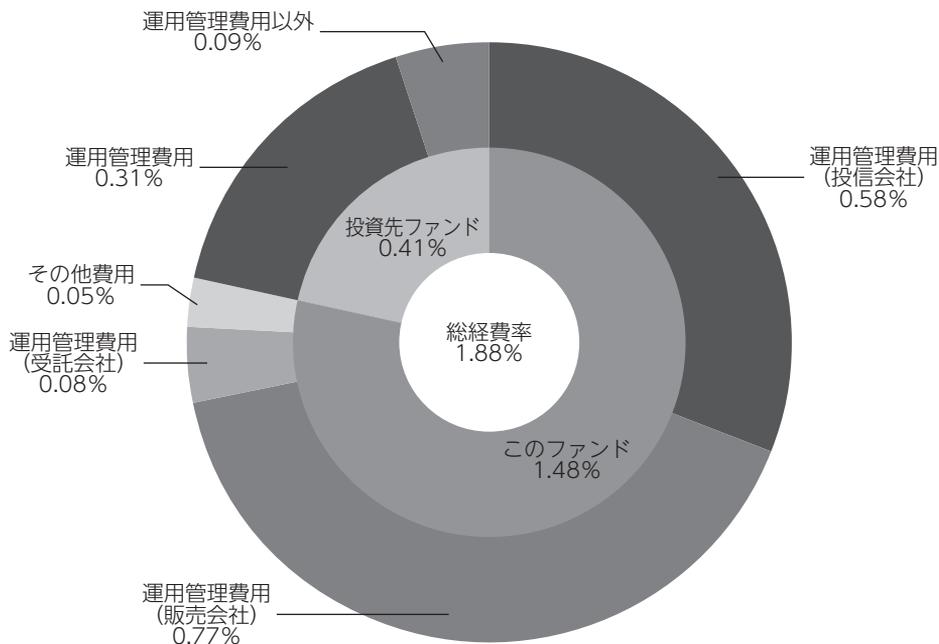
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①このファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

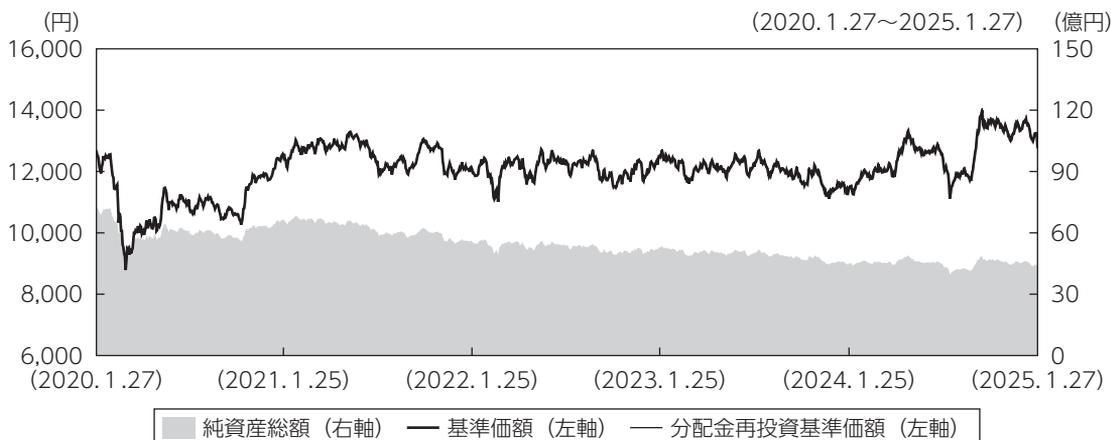
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 投資先ファンドはキャピタル・ゲイン税を含みません。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年1月27日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年1月27日 期首	2021年1月25日 決算日	2022年1月25日 決算日	2023年1月25日 決算日	2024年1月25日 決算日	2025年1月27日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	12,680	12,477	12,086	12,503	11,462	12,757
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	10	10	20	10	450
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.5	△3.1	3.6	△8.2	15.2
純資産総額 (百万円)	7,271	6,599	5,586	5,290	4,515	4,282

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

投資環境

当期の中国・香港株式市場は上昇しました。期初から2024年5月にかけては、中国政府による株式市場下支え策や不動産支援政策等が好感され上昇しました。6月から8月にかけては政策の出尽くし感、消費・不動産に関連する実際の経済指標が軟調であったこと、欧米との貿易摩擦の懸念を受け下落しました。9月は政府により大規模な景気対策が新たに発表され大幅上昇しました。追加金融緩和、不動産支援策、株式市場への流動性供給に加え、消費刺激策を含めた財政出動も示され、幅広い景気・株価対策となりました。10月以降は米大統領・議会選の結果を受け米中対立が懸念されたほか、国内景気への懸念が根強い一方で、追加政策の期待感もあり、期末にかけて一進一退の展開となりました。

当期の東南アジア株式市場は前期末対比で上昇しました。世界景気の後退懸念が和らいだことなどを背景に世界株式市場が上昇を見せるなか、域内株式市場も堅調な上昇を見せました。個別市場では、政情不安が嫌気されたフィリピン市場が下落した一方で、シンガポール市場の上昇が目立ちました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当期は投資信託財産の中長期的な成長を目指して、マザーファンドおよび東南アジアファンドを概ね均等に保有し、主としてサービス分野に関連する企業の株式に実質的な投資を行いました。

●新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド

中国経済の回復には時間がかかるとの見方を基に、業績が安定的な香港の不動産管理や公益関連銘柄を多めに保有しました。また、一般消費財・生活必需品セクターの組入比率を引き下げた一方、新規銘柄の組入によりコミュニケーションサービスセクターの組入比率を引き上げました。

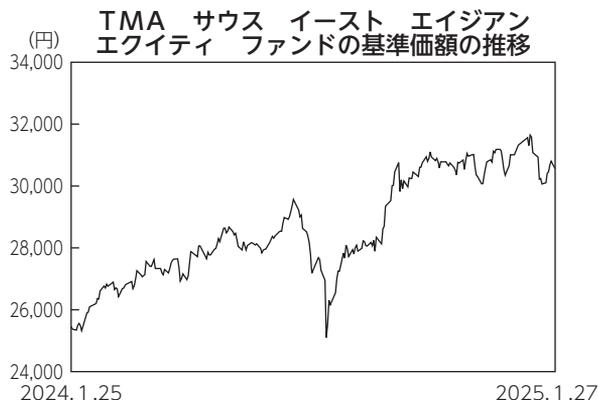
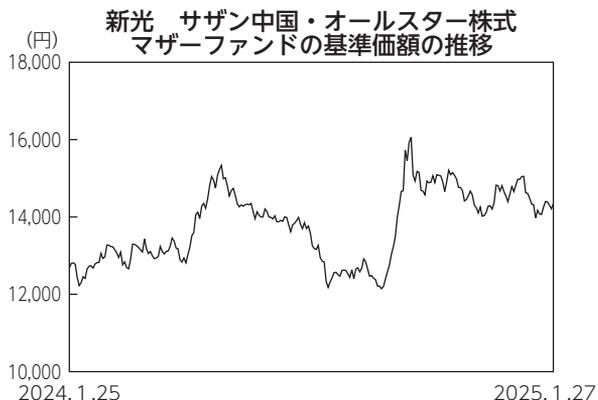
●TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド

<国別配分について>

期を通じて、シンガポールのアンダーウェイトを維持した一方、ベトナムやタイ、インドネシアをオーバーウェイトしました。期中の投資行動では、シンガポールのアンダーウェイト幅を拡大し、マレーシアのウェイトをアンダーウェイトからオーバーウェイトに引き上げました。

<セクター配分について>

個人消費拡大の恩恵を受けると期待される一般消費財や生活必需品、域内投資の拡大による恩恵が大きいと期待された情報技術、中間所得層拡大の恩恵が大きいと期待されたヘルスケアなどをオーバーウェイトしました。金融は相対的な魅力度を勘案し、アンダーウェイトとしました。期中の動きについては、ヘルスケアのウェイトを引き上げたほか、金融のアンダーウェイト幅を縮小した一方で、情報技術のオーバーウェイト幅を縮小し、コミュニケーションサービスのアンダーウェイト幅を拡大させました。



分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年1月26日 ～2025年1月27日
当期分配金（税引前）	450円
対基準価額比率	3.41%
当期の収益	233円
当期の収益以外	216円
翌期繰越分配対象額	3,720円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、マザーファンドおよび東南アジアファンドへの投資を通じて当ファンドの投資テーマである、サービス分野の発展に注目した運用を行う方針です。

●新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド

中国経済に関しては、経済指標の回復に時間を要しておりますが、中国政府は景気を安定化させる姿勢を見せており、今後も金融・財政両面における断続的な景気支援策が引き続き期待できると思われ、上下こそありつつも経済や企業業績が循環的な回復フェーズに入ることが期待されます。一方で、アジア周辺海域における様々な地政学的なリスクは依然として注視していくべき事柄であると考えております。当ファンドの運用ではそれらを注視しつつ、テクノロジーの進展や普及、それに伴う産業の構造変化、中間所得層の増加に伴う消費のアップグレードといった構造的な変化を捉え、好業績銘柄への重点投資を継続していく方針です。

●TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド

米中関係や米国の貿易政策が域内経済に与える影響を注視しています。域内各国の経済成長は内需主導の要素が強いものの、米国の貿易政策や中国の景気減速は域内各国にとってもマイナス要因になると考えています。一方で、労働人口の増加や可処分所得の上昇、信用拡大による個人消費拡大への期待や、旺盛な需要を背景としたインフラ投資などが域内の内需拡大に寄与すると考えており、中長期的には域内の経済成長に支えられて東南アジア株式市場は上昇基調を維持すると想定しています。

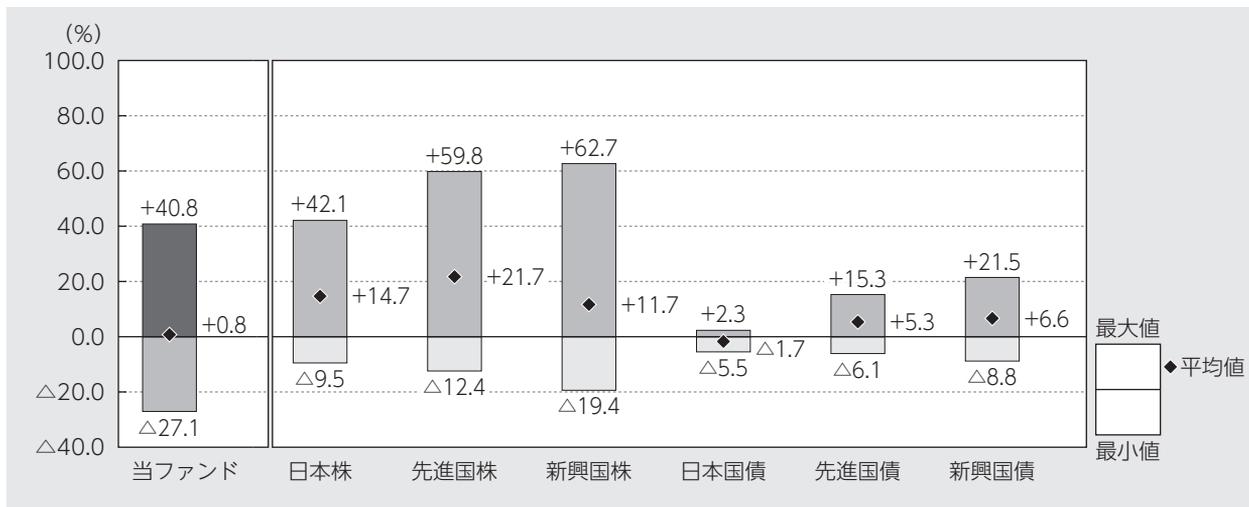
域内市場の株価水準は、先進諸国市場の株価水準と比較して相対的に魅力的な水準にあると考えています。域内各国で見られている民主化の進展や直接投資の拡大、また経済成長が継続し、域内の企業業績に投資家の注目が移る局面になれば、より堅調な市場展開になると見ています。当面のリスク要因としては、米国の貿易政策の変化による関税障壁の拡大や中国の景気減速による貿易量の減少等を想定しています。

ポートフォリオ構築にあたっては、引き続き東南アジア経済の大きなけん引力と考えるサービス分野、特に「交通・物流」、「娯楽・観光」、「都市生活」を重点投資分野とし、ボトムアップによる銘柄選択を中心に、中期的な成長が期待され、バランスシートも健全で、業績透明度の高い銘柄を中心に組み入れを行う方針です。セクター別では、内需拡大による消費拡大の恩恵を受けると期待される一般消費財、生活必需品セクター、中長期的な成長が期待されるヘルスケアセクターなどに注目しています。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2007年1月31日から2027年1月25日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	サザンアジア・オールスター株式ファンド	投資信託証券
	新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド	主として中国（香港、マカオ、中国本土）のサービス分野に関連する企業の株式
	TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	東南アジア諸国のサービス分野を中心とする企業の株式など
運用方法	<p>以下の投資信託証券を通じて、主として中国（香港、マカオ、中国本土）ならびに東南アジア諸国のサービス分野に関連する企業の株式に実質的な投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>内国証券投資信託（親投資信託） 新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド受益証券 ケイマン諸島籍外国投資信託 TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド（以下「東南アジアファンド」といいます。）円建受益証券</p> <p>投資信託証券に含まれる外貨建資産については、原則として当ファンドにおいて為替ヘッジを行いません。</p> <p>東南アジアファンドへの投資にあたっては、東京海上アセットマネジメント株式会社から投資助言および情報提供を受けます。</p>	
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年1月～2024年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年1月27日現在）

◆組入ファンド等

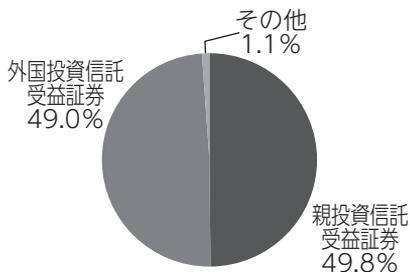
（組入ファンド数：2ファンド）

	当期末
	2025年1月27日
新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド	49.8%
TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド	49.0%
その他	1.1%

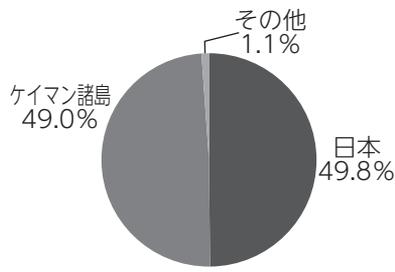
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

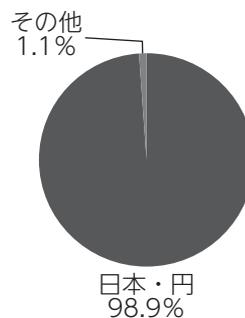
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

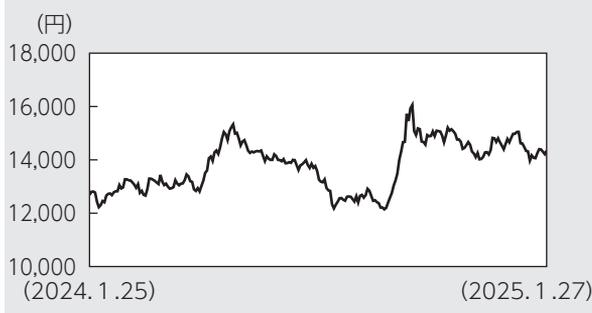
項目	当期末
	2025年1月27日
純資産総額	4,282,719,765円
受益権総口数	3,357,092,976口
1万口当たり基準価額	12,757円

（注）当期中における追加設定元本額は21,025,290円、同解約元本額は603,817,625円です。

組入ファンドの概要

【新光 サザン中国・オールスター株式マザーファンド】 (計算期間 2024年1月26日～2025年1月27日)

◆基準価額の推移



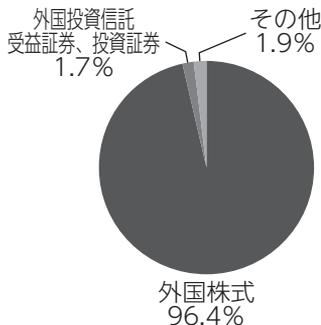
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	香港・ドル	8.2%
AIA GROUP LTD	香港・ドル	7.9
TECHTRONIC INDUSTRIES CO	香港・ドル	6.5
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.0
SUN HUNG KAI PROPERTIES	香港・ドル	4.9
BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	香港・ドル	4.0
TENCENT MUSIC ENTERTAINMENT GROUP ADR	アメリカ・ドル	3.7
CHINA STATE CONSTRUCTION INT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.6
CHINA COMMUNICATIONS SERVICES	香港・ドル	3.3
HENDERSON LAND DEVELOPMENT	香港・ドル	3.2
組入銘柄数	34銘柄	

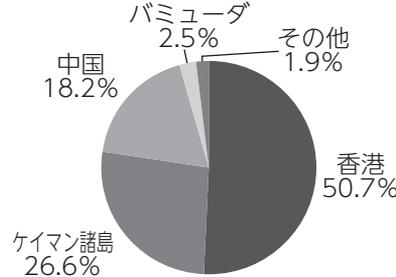
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	12円	0.091%
(株式)	(12)	(0.089)
(投資証券)	(0)	(0.001)
(b) 有価証券取引税	10	0.070
(株式)	(9)	(0.069)
(投資証券)	(0)	(0.001)
(c) その他費用	13	0.097
(保管費用)	(13)	(0.095)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	35	0.257
期中の平均基準価額は13,780円です。		

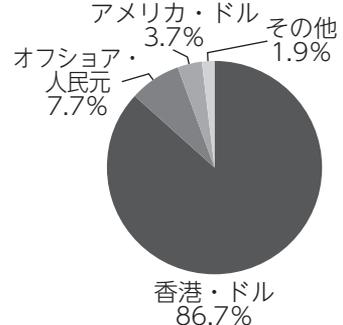
◆資産別配分



◆国別配分



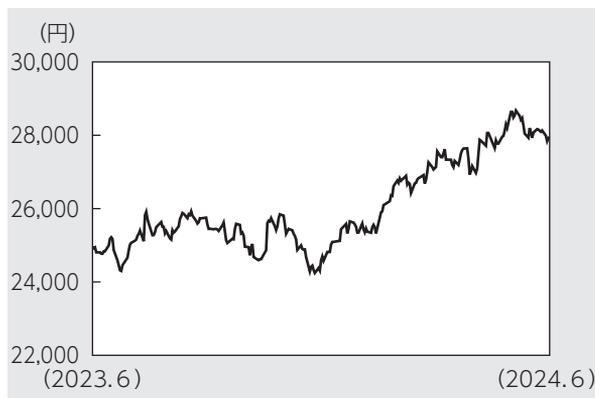
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
(注6) 現金等はその他として表示しています。
(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンド】（計算期間 2023年6月21日～2024年6月20日）

◆基準価額の推移



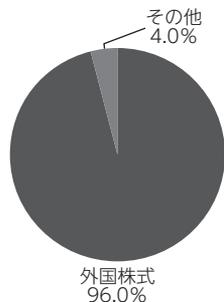
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
SEA LTD- ADR	アメリカ・ドル	6.9%
OVERSEAS CHINESE BANKING CORP LTD	シンガポール・ドル	6.9
BANK MANDIRI TBK	インドネシア・ルピア	5.2
CP ALL PCL- NVDR	タイ・バーツ	4.4
FPT CORP	ベトナム・ドン	3.2
SM INVESTMENTS	フィリピン・ペソ	3.0
SEMBCORP INDUS	シンガポール・ドル	2.8
DBS GROUP HOLDING LTD	シンガポール・ドル	2.8
MEDIKALOKA HERMI	インドネシア・ルピア	2.8
UTD OVERSEAS BANK LTD UOB	シンガポール・ドル	2.7
組入銘柄数		42銘柄

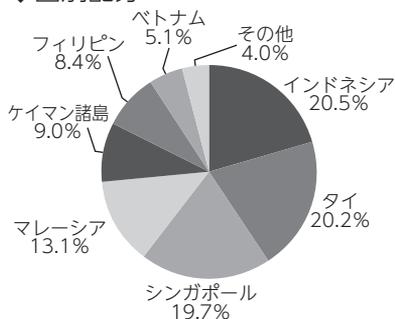
◆1万円当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

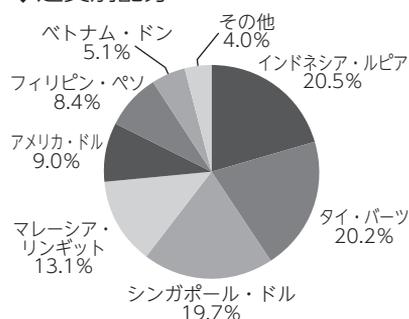
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はTMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの計算期間のものであります。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、TMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はTMA サウス イースト エイジアン エクイティ ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は財務書類および東京海上アセットマネジメント株式会社のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

